

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コスモス地域福祉活動センターえと 児童発達支援事業		
○保護者評価実施期間	2025年9月16日		～ 2025年10月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○従業者評価実施期間	2025年10月1日		～ 2025年 10月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年10 月20 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	(環境・体制整備) ・パーティションを用いて集団と離れ1～数人で遊べるスペースの確保。1人遊び等に活用。 ・別室で過ごせるように、机と椅子がある。カームダウンのスペースや別室を活用し静養できる空間の環境を整えている。 ・室内にブランコがある。ハンモックもできる。 ・排泄の際、身体の小さい子ども用の便座がある。 ・食事・製作等をする専用のテーブルを設備している。 ・アルコール消毒清掃は活動の修了毎におこなっている。	・本人の好きな遊びを、遊び込める環境の工夫。 ・活動を集中して取り組める環境の設置(子どもの調子によって場所の移動可能)。 ・ブランコ、ハンモック等を使用し、身体を動かし遊びを通し楽しみながら体幹を鍛え、バランス感覚、力の強弱や距離感など、さまざまな身体感覚・感触に触れ身体機能の維持・向上ができる遊具の設置。 ・排泄：子どもに合ったサイズの便座に座わり、心地良い環境を整えている。 ・床はフローリングなので、動きが多い場合クッションマットを引き、転倒予防や転倒時の衝撃に配慮している。	
2	(業務改善) ・現場会議等で全員が集まっている中で、立案したプランの確認、実行、振り返りを行い次回に活かしている。 ・日々の職員同士の会話を現場会議で議論し、業務改善につなげている。 ・外部・内部研修は積極的に受けている。受講後研修報告書を提出し、現場会議で報告。研修内容を共有し日々の支援を振り返り照らし合わせ学んできた内容を理解し現場に活かしていけるようにしている。	・職員の意見等を把握する為、職員会議、送迎会議を定期的に実施し意見交流ができる場の設定をおこない、会議前に出てきた意見を共有している。	・シフト等で出勤時間、送迎等で全員が集まり職員の意見等を把握する場を設定するのは難しいが、タイムリーに共有できるように伝えていく。
3	・家族懇談会の開催で、保護者同士で交流している。 ・きょうだいの参加もできる、運動会やミカン狩り、ハロウィン参観に参加し、本人、家族、きょうだい、職員みんなが楽しめる行事の開催。	・年度当初に年間予定を家族に配布している。 ・家族に参加してほしい行事は、マーカーを引いてわかりやすくしている。 ・きょうだいの参加も楽しめる行事にしている。	・成長・発達の変化を家族・関係機関・その他療育教室と更に共有し移行するときに活かしていくこと。 ・「たのしいな」「やってみよう」と思える遊びのレパートリーを職員が広げていく事。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	(環境・体制整備) ・トイレ・手洗い場が部屋の外にあるので使いづらさを感じる。		
2	(適切な支援の提供) ・職員の役割分担を固定するのは難しい。 ・職員全体で集まりおこなえていないと思う ・帰り送迎があり終了後に全員で振り返るのは難しい	・シフト勤務・送迎等で職員メンバーが集まり打合せ・振り返りをする事が難しい。	・役割の分担をしていても急な対応が入った場合、職員の体制が崩れてしまった時の立て直しを、どの職員でも指示ができるように職員の向上。 ・業務日誌・共有事項に記入し、送迎から帰ってきた職員や翌日勤務に入る前に見れるようにしているが、再度職員の口頭からも伝えていく。 ・職員は、出勤したら業務日誌を必ず見るようにする。
3			

事業所名 コスモ地域福祉活動センターえと 児童発達支援事業

公表日 2025年10月28日

利用児童数 2025 年 10 月 1日

回収数 1

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	1					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1					
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1					
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1					
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	1					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1					
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1					
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1						

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1				
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1				
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	1				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	1				

事業所名		公表日				
コスモス地域福祉活動センターえると 児童発達支援事業		2025 年10月 2 8日				
チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11		パーテーションを用いて集団と離れ1~数人で遊べるスペースの確保。1人遊び等に活用	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	2		男性職員が増えると活動(遊び)の幅が広がる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	1	排泄の際、身体の小さい子ども用の便座がある。 食事・製作等をする専用のテーブルを設備している。 アルコール消毒・清掃は活動の終了毎におこなっている。	障害特性に応じた環境を整えているが、トイレ・手洗い場が部屋の外にあるので使いづらさを感じる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	11		子どもの手が届かない所にアルコールスプレーを常備。 同じ部屋の中に活動によって心地よく過ごせる場所の設置。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11		別室で過ごせるように、机と椅子がある。 カームダウンのスペースや別室を活用し静養できる空間の環境を整えている。 室内にブランコがある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11		現場会議等で全員が集まっている中で、立案したプランの確認、実行、振り返りを行い次回に活かしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		おこなっている。 回答不明1名	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11		日々の職員同士の会話を現場会議で議論し、業務改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11		今年度第三者委員による外部評価を受ける。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11		積極的に受けている。受講後研修報告書を提出し、現場会議で報告してもらい研修内容を共有し実践に活かしていけるようにしている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11		HPに載せている。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11		日々家族との会話の中から、子どもと保護者(母)のニーズや課題を聞き取り、アセスメント、モニタリングに活かし計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11		事業所内ケース会議を開催し検討を行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	1	支援計画に沿った支援ができるように、職員がケースを記録するときに支援計画が記入されている。	今年度4月から働き始めているので、理解できていない部分もある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		実践後、子どもの様子を振り返り職員が気づいた様子等ケース記録に残している。 回答不明2名	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11		内容に沿って作成している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11		立案者の計画を、チームで確認し、再立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		色々な取り組みを、日々考えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11		子どもの状況や発達に応じて活動内容を組み合わせ支援をおこなっている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	3	事前に何をするのか説明がある。	毎日、開始前にする方がいい。

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	3	共有しておく点は、送迎から帰って来たメンバーでおこない業務日誌に記入し、口頭でも引き継いでいる。	帰り送迎やシフト勤務等もあるので、終了後に皆で振り返る事は難しいが、時間のタイミングが合う時に共有している。 時間が合わず引継ぎができなかった場合、職員間のグループライン等で共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11		子どもの状況や支援について、詳しく毎日記録している。	
	23	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11		日常の家族との話しも参考にし、モニタリングの際見直しをおこなっている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11		サービス管理責任者が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	1		障害児相談、子相と家児相の連絡の取り合いが、できていないと思う。連携不足を感じる事もちらほらある。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		回答不明1名	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11		支援内容等の情報の中で相互理解を図り、スムーズに移行できるように、わからない所があれば、電話等で聞いている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	10		回答不明1名	
	32	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	11		えるとまつり等で、地域の人たちが集まり一緒に楽しめる機会がある。 地域のまつり、行事。親子ひろば。 あいすてーしょん	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10		研修のお知らせ等、家族にプリント配布して情報提供をおこなっている。 回答不明1名		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11		家族懇談会・運動会・ハロウィン参観ミカン狩り等、家族みんなで参加できる機会を設けている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11		申し入れがあった場合、体制を整え早急に対応している。	
	41	定期的通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11		活動を月1回のニュースで配布。 行事後、HPに載せている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11		鍵付き書庫に保管。	

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11		その日の情報伝達の為、毎回利用の際連絡帳に記入している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	2	回答不明2名	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	2	回答不明1名	今年度4月から働き始めているので、理解できていない部分もある
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11		現場会議・職員会議で取り組んで周知するようにしている	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11		提供したおやつを記入し毎回家族に渡し控えは、保管している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	1		安全計画の周知不足
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	1	契約・モニタリング等の際説明している。 回答不明1名	年度最初のお便りで知らせていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11		報告書を記入し翌日には事業所内で共有できるようにしている。修繕が必要な場合は、まずは応急処置を行い事故に繋がらないようにし、業者等に依頼し修繕している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10		回答不明1名	